



代表取締役社長

佐野 健一

2029年のゴールに向かって、 「第2次3ヵ年経営計画」を推進

北興化学工業グループは、「社会貢献」「環境」「技術」を経営のキーワードとし、全ての人の幸せのため、食糧の安定供給に寄与する安全で安心な農薬製品および産業活動を幅広く支えるファインケミカル製品を社会に提供していくことを企業理念とし、日本経済に貢献するため、日々、取り組んでおります。

北興化学工業は、1950年2月27日に、旧野村財閥系企業である野村鉱業株式会社が製薬部門を独立させて、農薬製品の製造、販売会社としてスタートしました。野村鉱業において培われた有機合成反応技術「グリニャール反応」はその後、ファインケミカル事業の事業基盤となりました。現在、ファインケミカル事業において

では、半導体産業に高品質の素材を提供する電子材料分野が成長しており、主力製品である KrFレジスト用原料の将来の需要増加を踏まえ、2024年7月に岡山工場内にフォトレジスト製造専用工場の新設を決定しております。

当社グループは、2022年度以降、3期連続で連結経常利益50億円台を達成するなど、着実な成長を続けており、長期経営計画の第2ステップである第2次3ヵ年経営計画（2024～2026年度）においては、これまでに築いてきた収益基盤・財務基盤を活用し、成長戦略の実現に向けた成長投資に集中して取り組み、第3ステップ着地年次である2029年度において長期業績目標である連結経常利益60億円の達成を目指しております。

この中、2025年度においては、農薬事業の収益向上に向けた事業の再構築、ファインケミカル事業の生産能力増強を踏まえた国内外の販売体制の強化などの成長戦略を推進してまいります。

また、「持続可能な社会の実現」と「持続的な企業価値向上」の好循環実現に向け、サステナビリティ向上への取り組みを一層強化し、「SDGs」「気候変動対応」「カーボンニュートラル・省エネ推進」「CSR調達推進」「人的資本経営」への対応をさらに進めてまいります。

これら成長戦略等を具体化・実践することにより、農薬事業とファインケミカル事業を両輪とした経営をさらに進化させ、「強く豊かなHOKKO」の実現を目指してまいります。

株主の皆さまへの還元充実に向け、現経営計画期間（2024～2026年度）において累進配当方針とし、利益の成長に応じた増配を目指してまいります。なお、2024年10月には10億円（上限）の自己株式取得を決定しております。

ステークホルダーの皆さまには、本レポートを通じて、当社グループについてのご理解を深めていただくとともに、今後の活動に向け、皆さまからの忌憚のないご意見を賜ることができれば幸いです。

2025年5月

■企業理念

「社会貢献」「環境」「技術」を経営のキーワードとし、全ての人の幸せのため、食糧の安定供給に寄与する安全で安心な農薬製品および産業活動を幅広く支えるファインケミカル製品を社会に提供していきます。

■経営の基本方針

『企業理念』の実現に向け、立案した事業計画を着実に実行することにより、持続的かつ安定的な成長を実現し、国内外の産業の発展と豊かな社会づくりに貢献します。また、取締役会を中心とした経営の自己規律のもと、中長期的な企業価値の向上を図るとともに、社会に信頼される企業であり続けます。